

株式会社ダッドウェイ様の取材を終えて

鈴木 二千翔

#### ・会社概要

株式会社ダッドウェイは主にベビー用品 ペット用品の企画・輸入・製造・販売を行っている。「お父さんの子育てをもっと面白楽しくしたい、ペットの触れ合いをもっと面白楽しくしたい、笑顔あふれる家族作りをお手伝いします」という企業理念を掲げている。

#### Q1. 海外製品のリコール対応について

とある海外製品のおもちゃに日本の法律では使用が禁止されている物質が含まれていた。毒性は極めて弱いものではあったが法律に従い、勇気を持ってリコールに踏み切った。リコールの際、外部に協力を頼むという案も出たが社内全員で協力し、1年かけて7000個の商品を回収した。これが保健所や経済産業省から高く評価された。お客様からの信頼もさらに厚くなり、リコール対象であった商品のメーカーの売り上げが上がったことで、誠実な対応は必ず良い結果に結びつくと確認できた。

#### Q2. 輸入商品と自社製品の差別化

世界中から子育ての商品を集めることを考えているが、ないものは自分たちで作ってしまおうという考えである。社員やお客様の要望にお答えする形で様々なものを作っている。差別化は特にしていないが強いていうならば、日本でしか作れない「六重ガーゼ」などを使うなど、日本の良さを取り入れている。

#### Q3. 働きやすい環境づくりの具体例

営業利益が上がるにつれて働き方が画一的ではなくなり社内改革を行った。原則は「人事制度」「労務制度」「管理体制」の見直しを同時に行うことである。社員一人ひとりの異なるライフスタイルを尊重していくことで働き方を自由なものにする。それによる職務管理の難しさをシステム導入などで解決している。これらの改革が評価され横浜市から「よこはまグッドバランス賞」を受賞している。

**Q4. 不景気でも毎年採用する理由**

企業の使命の一つに雇用促進があると認識があるため、不景気であっても覚悟を持って採用している。そのためには計画的・創造的・発展的に考えていく必要があり、それが企業の存続につながると考えたからである。

**Q5. この会社だからこそできる CSR の強み**

企業理念にもある、「父親の子育てを応援していること」自体が CSR であると考えている。これを軸にお客様・社員・家族の幸せのために何をすれば良いのかを考えれば、事業に直結した CSR が実現できると思う。それこそが DADWAY の強みである。

**Q6. 新たに導入していきたいこと**

モノを売るだけではなくコト消費にも力を入れていきたい。横浜ベイクウォーターにプレスタジオを作ることで、親子のコミュニケーションを増やしファミリーの幸せの増幅を試みている。みなさんに楽しんでもらいながら、家族の幸せに直結するようなテクニック・ノウハウを経験していきたい